

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高齢者趣味の家施設整備事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	石井 由美子			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	60歳以上の市民	意図	趣味の家の設置により、高齢者が生産又は創造的な活動を通じて、生きがいと創造力を高め、その生活を健康で豊かなものとする。
事業内容	老朽化が著しく、躯体鉄骨柱の腐食が発生している東部高齢者趣味の家を建て替え、併せて同施設内に設置している陶芸用電気炉3基のうち、劣化が著しい1基を更新するものである。			
事業開始から現在までの状況変化	平成29年度に東部高齢者趣味の家の建替及び陶芸用電気炉1基の更新を行った。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		東部高齢者趣味の家利用者			2,149	人	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						引き続き高齢者が安心して利用できる施設を提供している。
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				41,402,040			
事業費(b)(円)				39,388,440			
うち一般財源				37,029,440			
職員給与費(c)(円)				2,013,600			
人役・職員(人)				0.30			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	【新規事務事業により記載なし】
今年度(H29)に実施した取組	【新規事務事業により記載なし】

取組の課題	東部高齢者趣味の家の建替及び陶芸用電気炉1基の更新を行った。今後は建物及び機器の管理について適正に行なっていく必要がある。
今後の改善計画	引き続き高齢者が安心して利用できる施設を提供していく。